羽衣国際大学
HAGOROMO University of International Studies

第34回一般公開講座

境界（ボーダー）を考える

人の考え方やものの見方には必ず「境界（ボーダー）」が存在する。それは意識的に形成される場合も無意識的に形成される場合もある。また、時代や地域、文化によっても「境界（ボーダー）」は一定ではない。学問の追究は、それまで意識されていなかった「境界（ボーダー）」の存在を明らかにする、あるいは存在している「境界（ボーダー）」を超える、消滅させる、また、新たな「境界（ボーダー）」の概念を生むなど、人が抱く「境界（ボーダー）」の概念に働きかける原動力となっている。本講座では、食、生物、観光、情報技術、障がい、教育、社会、ビジネス、美術、平和の実現など、多様な観点から「境界（ボーダー）」について考えてみたい。

「境界（ボーダー）を考える」

後援：堺市・高石市・泉大津市

≪全７回のオムニバス講座 ＊ 全て土曜日 10:00am-12:00 pm 開催≫

回	日 程	タ イ ト ル	講 師	備 考
1	10/6	ヒトとサルの境界 料理するサルがヒトに進化した？	東條 正 人間生活学部 食物栄養学科 准教授	開講式 09:50 -10:00
2	10/13	暮らすように旅をする 暮らしの文化から考える観光立国	中島 智 現代社会学部 現代社会学科 専任講師	
3	10/20	ICT(情報通信技術)で境界を超える 人間中心の新しい社会への期待	小田 まり子 現代社会学部 放送・メディア映像学科 教授	
4	11/10	境界としての 1966 年 教育と社会・文化	梨木 昭平 人間生活学部 人間生活学科 准教授	
5	11/17	コーポレート・ガバナンスと ダイナミック・ケイパビリティ 企業の境界の再構築	日向 浩幸 現代社会学部 現代社会学科 准教授	
6	12/1	ふれて楽しむ絵巻の魅力 読むと観るとの境を探る	河田 昌之（ゲスト講師） 大阪芸術大学 芸術学部 教授 和泉市久保惣記念美術館 館長	
7	12/8	平和学への招待 平和の実現には何が必要か	水飼 牧 人間生活学部 食物栄養学科 専任講師	閉講式 12:00 -12:15

○**受 講 料**：無料　　○**テキスト・資料代**：2,000 円（全７回分。初日に受付にてお支払い）

○**定　　員**：110 名（先着順）　　○**修了証書**：5/7 回以上の出席者には修了証書を授与

○**申込方法**：「一般公開講座希望」と記載し、氏名（フリガナ）・〒・住所・年齢・性別・電話番号・FAX 番号（FAX 利用者）を明記の上、往復ハガキまたは FAX かメール（パソコンまたは添付資料を受信できるスマートフォンのみ）で、下記宛先にお申込ください。メール利用者は shakoza@hagoromo.ac.jp からのメール本文と添付資料が受信可能な設定になっていることを必ずご確認ください。

○**申込期限**： 10/2（火）まで延長！

○**受 講 票**：受講票は、お申込時に利用された通信方法にて〔例：FAX 利用者には FAX にて、メール利用者にはメールにて〕、9/6（木）から申込順にて随時返信します。返信についてのお問合せは 9/11（火）以降に下記へお電話ください。

羽衣国際大学 「一般公開講座」 係　〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町 1-89-1

・電　　話 ： 072-265-7145（直通） 月～金 09:00-17:00、土 09:00-12:30

・F A X ： 072-265-7008　　・メ ー ル ： shakoza@hagoromo.ac.jp

・ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ ： 「はごろもこくさい」で検索 、「社会人・一般の方へ」をクリック